

01_Linuxサーバデータベース - 005_Redmine4.2のリマインダーを利用する。

概要

Redmineにはデフォルトでチケットの期日まで何日かメールで通知する機能が備わっています。

これにより、

- 作成したチケットの処理忘れを防ぐ
- 定期作業など、開始日が定まっているチケットを事前に把握する

ことが可能になります。

本記事では、この機能を有効化するとともに、これに必要なLinuxサーバの設定についても記します。

環境

以下の環境で動いていることを確認しています。

- Ubuntu 20.04系Linux
- Redmine 4.2

前提

この作業の前に、以下が必須です。

- Redmineでメール通知が有効になっていること
 - (Gmailとの連携方法については以下で案内しています)
 - <https://atelier.reisalin.com/projects/zettel/knowledgebase/articles/22>

実施した手順

本作業はRedmineのWeb上で作業をしません。全て稼働サーバのSSHで操作を行います。

さっくりとした手順

1. Linuxのrsyslog設定でcronログを有効にします。
2. リマインダースクリプトを作成して実行権限を付与します。
3. cronで定期実行されるようにします。

rsyslogdでCronログの有効化

設定ファイルのバックアップ取得

```
sudo c -pi /etc/rsyslog.d/50-default.conf /path/to/backup/directory/50-default.cc$(date +%Y%m%)
```

```
diff -u /etc/rsyslog.d/50-default.conf /path/to/backup/directory/50-default.cc$(date +%Y%m%)
# 差分が無いことでバックアップが取れていることを確認します。
```

設定ファイルの書き換え

```
sudo se -i 's/^#cron.* /etc/rsyslog.d/50-default.confon.log/'
```

- 差分確認

```
diff -u /path/to/backup/directory/50-default.con$(date +%Y%m%) /etc/rsyslog.d/50-default.conf
```

- 差分

```
##cron.* /var/log/cron.log
+cron.* /var/log/cron.log
```

rsyslogd反映

```
systemctl status rsyslog.service
# active (running)を確認します
```

```
sudo systemctl restart rsyslog.service
```

```
systemctl status rsyslog.service
# active (running)を確認します
```

リマインダースクリプトの作成

スクリプト格納ディレクトリを作成して移動します。

```
mkdir /home/hoge/scripts
# ログインユーザー名配下がメンテナンスしやすいです
cd /home/hoge/scripts&& pwd
# 作成したディレクトリにいることを確認します
```

リマインダースクリプトを作成します。

【】内は自分の環境に合わせ、書き換えてからコマンドを実行します。（詳細をコメントで書いています）

```
cat <<- __EOF__ | tee -a redmine_reminder_3days.sh
#!/bin/sh
```

```
SHELL=/bin/sh
PATH=/usr/local/sbin:/usr/local/bin:/sbin:/bin:/usr/sbin:/usr/bin
```

```
cd 【/var/lib/redmine】
# 自分が格納しているRedmineのルートディレクトリ
bundle exec rake redmine:send_reminders days=3 RAILS_ENV=production
# この例では3日前に通知します。days=nの部分を変えることで日数を指定できます
__EOF__
```

筆者は、

- 1日前 (redmine_reminder_1day.sh)
- 3日前 (redmine_reminder_3days.sh)
- 7日前 (redmine_reminder_7days.sh)
- 31日前 (redmine_reminder_31days.sh)

の4種類を作成し、それぞれの期日にメールを送付するようにしています。

スクリプトに実行権限を付与し、動作を確認します。

- 実行権付与

```
chmod +x redmine_remind*day*.sh
ls -l redmine_reminder*day*.sh
# 実行権限がついていることを確認します
```

- 動作確認

```
sudo -u www-data sh /home/hoge/scripts/redmine_reminder_3days.sh
# warningは今のところは無視して大丈夫です
```

締め切りが3日に到来するチケット一覧のメールが受信されれば成功です。

crontabに追加

現行のcrontab確認

```
sudo crontab -l -u www-data
```

- 結果確認

```
no crontab for www-data
```

と出ていることを確認します。

crontab追記

```
sudo crontab -e -u www-data
```

- 注意事項

初めてこのコマンドを実行した場合、「crontabで用いるエディタは何か」を確認されます。自分の信仰や教義に合わせたエディタを選択してください。

追記例

```
20 * * * /home/hoge/scripts/redmine_reminder_31days.sh
30 * * * /home/hoge/scripts/redmine_reminder_1day.sh

30 1€ * * * /home/hoge/scripts/redmine_reminder_7days.sh
40 1€ * * * /home/hoge/scripts/redmine_reminder_1day.sh

20 2C * * * /home/hoge/scripts/redmine_reminder_3days.sh
30 2C * * * /home/hoge/scripts/redmine_reminder_1day.sh
```

この例では、

- 8:20 31日前に期日が到来する担当チケット
- 8:30 1日前に期日が到来する担当チケット
- 16:30 7日前に期日が到来する担当チケット
- 16:40 1日前に期日が到来する担当チケット
- 20:20 3日前に期日が到来する担当チケット
- 20:30 1日前に期日が到来する担当チケット

をそれぞれ通知します。

追記確認

- crontab 追記確認

```
sudo crontab -l -u www-data
```

追記した内容があることを確認します。

- cronログ 設定確認

```
cat /var/log/cron.log
```

- BEGIN EDIT (www-data)
- REPLACE (www-data)
- END EDIT (www-data)

が、crontabに追記した時間帯にあれば設定完了です。

後は、指定した時間にメールが通知されることを待ちましょう。(キチッと確認したい場合は、cronの実行時刻を調整してください)

ファイル

O_Redmine基本アイコン.jpg

258 KB

2024/01/05

手動人形